



## 人間性と社会を守ろう！

宮前小学校の児童の皆さん、お元気ですか。

5月7日からの学校再開、そして皆さんとの再会を楽しみにしていましたが、残念ながら5月31日までの臨時休業延長が決まってしまいました。もうしばらく、お家での生活が続きます。新型コロナウイルスにかからないように注意して過ごしてください。

三重県の鈴木英敬知事が、4月20日に「新型コロナウイルスの患者や家族の家に、石が投げ込まれたり、壁に落書きされるなどの被害があった」ことを記者会見で明らかにしました。皆さんは、このことについてどう思いますか。このような行為は差別です。あってはならないことですね。

諏訪赤十字病院の森光玲雄さんは、「フィジカル(物理的)な意味での距離感を取らなければいけないが、人間関係としての心理的な距離感までは崩されてなるものかと1人1人が思うことが重要なことと思う。敵意を人に向けるんじゃない、敵はウイルスだということを認識することが必要」と述べています。森光さんは、日本赤十字社のリーフレット「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう～負のスパイラルを断ち切るために～」を監修した方です。

このリーフレットによれば、ウイルスには3つの“感染症”という顔があるというのです。第1の感染症は「病気そのもの」です。このウイルスは感染者との接触でうつることがわかっています。感染すると、風邪症状や肺炎を引き起こすことがあり、亡くなってしまう人もいます。第2の感染症は、「不安」です。このウイルスは見えません。見えない敵は、恐ろしく大きく感じてしまいます。不安や恐れは人から人へ伝染します。第3の感染症は、「差別」です。不安や恐れは人間の「生き延びようとする本能」を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を遠ざけるようになり、差別につながります。差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても医療機関に相談しない人も出てきます。この“感染症”の怖さは、「病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながる」ことなのです。

この負の連鎖を断ち切らなければなりません。第1の感染症をふせぐために「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」など徹底しましょう。このことは自分のためだけでなく周りの人のためにもとても大切です。また、第2の感染症に振り回されないようにしましょう。そして、医療関係の方々や治療を受けている人やそのご家族など新型コロナと闘っているすべての方々をねぎらい、敬意を払って第3の感染症をふせぎましょう。

第1の感染症「病気そのもの」にはかかっていないのに、第2、第3の感染症にかかってしまい「人と人との信頼関係や社会のつながり」を失ってしまっは何にもなりませんね。何をなすべきかをしっかり考えて過ごしてほしいと思います。



